

『第17回 インフラ構造物長寿命化研修会』のご案内

主 催	公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構
日 時	令和8年1月29日（木）14:00～16:30（13:30受付）
場 所	公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構 3階研修室 (佐賀市鍋島町大字森田912番地)
研修項目	溝橋（カルバート）の損傷・補修事例及び橋梁点検での新技術活用事例
(1) 14:00～15:30	「定期点検データに基づく佐賀県内道路橋の劣化状況の分析」 佐賀大学理工学部 教授 伊藤 幸広 氏 平成26年の道路法改正により、5年に1度近接目視による定期点検が道路橋管理者に義務付けられた。令和5年度で各橋梁2巡目の点検は完了しており膨大なデータが蓄積されている。 本講演では、佐賀県橋梁点検マニュアルに基づいて行われた定期点検データを用いて、県内道路橋の劣化状況（健全度）について分析・整理した結果について述べる。また、県内の平野部で多く施工され供用されている溝橋について、劣化・損傷状況の特徴を概説するとともに、代表的なひび割れパターンを抽出しその詳細について解説を行う。
(2) 15:30～16:00	「橋梁点検における新技術の適用事例：抽出や選定における課題」 (株)コスモエンジニアリング 浦 耕司 氏 2019年2月「道路橋定期点検要領」の改定により、近接目視と同等と認められた点検手法の採用が認められ、「点検支援技術性能カタログ」が発行された。記載技術も毎年更新され、最新の令和7年4月版では画像検出技術のみで81技術も掲載されている。多くの技術から橋梁の損傷状況に応じた技術の抽出や比較に労力を要する。技術の抽出方法や選定における課題などを当社において活用した実例を踏まえ紹介する。
(3) 16:00～16:30	「橋梁点検におけるUAV点検の事例」 (株)エスジー技術コンサルタント 陣内 哲大 氏 従来の道路橋の点検は原則、目視点検で行うこととなっている。しかし、近年では目視と同等な点検技術であるUAV点検の活用が進んでいる。UAV点検は単橋ではコストが増える場合があるが、複数橋をまとめて実施することで、従来の特殊車両等を使った点検手法と比較してコスト削減が可能となる場合がある。本件では、コストを削減しつつUAV点検を実施した具体的な事例を説明する。
対 象	自治体職員、建設コンサルタント、建設業者
定 員	80名
参 加 費	1名につき 3,000円 【登録番号 T8300005000148】 (消費税10%対象 2,728円 消費税額 272円)
申込方法	メール（ gkenshu@sagacat.or.jp ）にて①研修会名、②氏名、③所属、④TEL、⑤受講証明書（CPDS・CPD・不要）のいずれかを明記のうえお申し込みください。1社あたりの申込人数に制限はありません。申込多数の場合は人数調整をお願いすることがあります。参加費の支払方法は申込受付後、メールにてご連絡します。
申込期限	令和8年1月22日(木)17:00（定員になり次第締め切ります）
そ の 他	(1) 駐車場は、クレオパーク鍋島内北東にある専用駐車場をご利用ください。（別紙参照） (2) 喫煙は所定の場所でお願いします。灰皿は設置しておりませんので、携帯灰皿をご準備ください。
問 合 先	公益財団法人佐賀県建設技術支援機構 技術部 企画情報課 TEL 0952-97-5596 FAX 0952-97-5603

※（一社）全国土木施工管理技士会連合会 CPDS、（一社）建設コンサルタント協会 CPD に申請中です。